



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

高温時対策 おすすめ資材

⚠ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ⚠



海の子カラを植物へ。 マリンインパクト



海藻抽出物100%使用

- ◆ 成り疲れ対策にも効果抜群!
 - ◆ 菌根菌との共生アップ
 - ◆ 長期取り作物のストレス対策に
- 500~1,000倍
〈定植直後〉2週間おき2~3回
〈着果・果実充実〉2週間おき2~4回



酷暑に打ち克つ

ヒートインパクト



暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 施設内の高温による苗の徒長対策
 - ◆ 花き類の奇形花、短茎、花色不良対策
 - ◆ 光合成機能の低下による収量減対策
- 果菜類・葉菜類使用例 1000倍 100ml/10a
本葉展開後~収穫前 2~3回 葉面散布



ライスフル 植物抽出物でできた 高温ストレス耐性剤

暑い夏の良質な作物づくりをサポート

- ▶ HSP(ヒートショックプロテイン)の増産で高温耐性の向上
 - ▶ 植物由来の成分が効果を発揮
- 500~1000倍 挿し穂をどぶ漬け
※詳細はメーカー様へお問い合わせください



高温ストレス軽減

炎天マスター



高温耐性のスイッチON!

- ◎ 高温対策専用バイオスティミュラント剤
 - ◎ 高温に備える指令を伝える遺伝子の発現増加
 - ◎ ストレスによって植物を傷つける物質の除去
- 500~1000倍
7~14日間隔 葉面散布

| 時期 | IRAC FRAC | 対象病害虫 | 薬剤名 | 予防 | 治療 | 使用量・希釈倍数 | 使用時期 | 回数 |
|------|--------------|---|--------------|----|----|--|-----------------------|------------|
| 定植時 | 11, 4 | ①白さび病 ②立枯病 | ユニフォーム粒剤 | ○ | — | ①9~18kg/10a ②18kg/10a | ①定植前 ②定植時又は 生育期 | ①1回 ②3回 |
| 生育初期 | M03 | 白さび病 | アントラコール顆粒水和剤 | ○ | — | 1000~2000倍 | 発病前~ 発病初期 | 6回 |
| | 6 | アザミウマ類・ハモグリバI類・ オオタバコガ・ヨトウムシ類 | アフーム乳剤※ | — | — | 1000倍 (アザミウマ類: 1000~2000倍) | 発生初期 | 5回 |
| 消灯時 | 11 | 褐斑病・黒斑病・白さび病 | メジャーフロアブル | ○ | ○ | 2000倍 | 発病初期 | 3回 |
| | 20B | ハダニ類 | カネマイトフロアブル | — | — | 1000~1500倍 | — | 1回 |
| 発雷時 | 7 | 白さび病 | カナメフロアブル | ○ | ○ | 4000~8000倍 | 発病初期 | 3回 |
| | 30 | アザミウマ類・ハダニ類・ オオタバコガ・ハスモンヨトウ | グレーシア乳剤 | — | — | 2000倍 | 発生初期 | 2回 |
| 破雷期 | 3 | うどんこ病・白さび病 | アンビルフロアブル | ○ | ○ | 1000倍 | 発病初期 | 7回 |
| | 5 | イラカサギンウバ・コナジラミ類・ アザミウマ類・ハモグリバI類・ オオタバコガ・クロバネキノコバエI類 | ディアナSC※ | — | — | 2500~5000倍 (コナジラミ類・クロバネキノコバエI類:2500倍) | 発生初期 | 2回 |

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する
場合があるためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録